

第1回霧島市立保育園あり方検討委員会 会議録

平成 23 年 11 月 30 日(水) 13:00～

国分シビックセンター 701 会議室

出席委員

高橋 しのぶ、宇都 恵美、堀之内 美紀、川畑 隆光、井上 裕美子、宮下 朝一、久保園 節子、南田 吉文

事務局

宮本保健福祉部長、花堂保健福祉政策課長、新窪政策グループ長、秋丸主任主事、茶園児童福祉課長、山内児童福祉・保育グループ長、山下主査

委員 保育園に関しても指定管理者はありうるのか。

事務局 あり得ます。幼稚園は制度としてできないそうです。

委員 3 ページの市内保育園の一覧はどういう意味で記載されているのか。受け皿の話なのか。

事務局 民営化の場合、経営譲渡先を公募することが多い。その際に条件として、市内で実績があるなどとすることが一般的であるため、記載した。

委員 公立ならではの良さはないか？

委員 給食の献立レパートリーが広い。公立の場合、人事異動があつて、人の出会いがあつて、保育の幅が広がる。私立で同じ園にずっといるよりは、視野が広がると思う。

委員 民営化されて、保育料は変わるのか？

事務局 保育料は保護者の所得に応じて決まるので、変わらない。

委員 こども子育て新システムになって公立保育園への影響は？

事務局 新システムの影響は特に今の時点では見えない。

委員 新システムの不安の一つに軽度発達障害児への保育士の加配がなくなった時に、公立保育園がセーフティネットとして必要になるのではないかと。一つ、二つはあつた方が良くはないか。

委員 上場の保育園でかなり入所児童数が少ないところはあるが、民間でも経営できないだろう。

委員 障害児の保育はどうなっているか。

事務局 現在、公立私立 8 名ずつ入園している。

委員 よく園長会でも言われるが、障害と認定されない軽度発達障害、数字に出てこない。明らかに集団生活ができない。ここを各園は努力している。

事務局 加配の条件は障害者手帳を持っていることである。

委員 アンケートのサンプルは少なくないか？小さい園の声が拾えるか。

事務局 アンケートの送付数については検討したい。各園ごとに抽出をするので、小さい園でも必ずアンケート送付者がいる。

委員 この会にでるまで、保育園の民営化がピンとこなかった。何につながるのか、わからない。若い母親にはわからないのでは。

委員 アンケートの頭に趣旨とかも入れてほしい。

事務局 そのようにします。

委員 保護者は公立私立の区別もついていない人も多いのではないかと。公立との違いがよくわからない。自分の園の良さはわかる。他の園はわからない。